

教科	工業	科目名	建築施工	単位数	2
学科	建築科	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	「建築施工」(実教出版)				
副教材など	「2級建築施工管理技術士学科テキスト」(建築資料研究社出版)				

1. 科目の目的

建築全般にわたる基礎的な知識と技術を習得することをめざす。

建築施工において、その知識を実際に活用する能力と態度を身につけることをめざす。

2. 授業の内容と進め方

本校では、講義のみの授業にならないように、教科書を理解させるだけでなく、実習科目と連携をとって各種資格試験の取得にもつながる知識を習得します。

3. 学習する上での留意点

特に実習及び課題研究にこの科目の内容を生かし、実際の建築工事の施工を通して学習を深めていくことが主になります。原則として全員が受験する「2級建築施工管理技術士試験」の問題に含まれる内容でもあるので、合格めざして小テスト等を実施します。

4. 課題等について

各単元ごとに小テストを行います。各学期に中間考査・期末考査を実施します。建築物の各部の名称や建築材料の名称を覚えるために、授業ノートをきちんとまとめ提出させます。また、夏季休業期間中に2級建築施工技術士試験に向けて補習を実施します。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	建築物その工法について興味関心が高く、意欲的に授業に取組み、ノートなども工夫してまとめているか。
思考・判断・表現	工事の種類や工程上の前後の関係を理解しているか。また、各工事における工法を理解した上で条件に適合した施工法を正しく判断することができるか。
技能	工程表から基本的な日数計算ができるか。また、各種工事の問題を解き、計算、作図説明ができるか。
知識・理解	専門用語、材料規格、施工方法及び材料管理等について理解しているか。さらにこれらの知識を安全管理と結びつけて理解しているか。

6. 評価の方法

(1)出席状況 (2)授業の取組状況 (3)受業ノートの内容 (4)定期考査 などにより総合的に判断します。

《指導計画》 科目名 建築施工

3 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	第5章 仕上げ工事・設備の工事 (1)仕上げの工事・設備の工事のあらまし		
	5	(2)仕上げ初期の工事 ア)屋根工事 イ)外装工事 ウ)間仕切り工事 エ)天井下地工事 オ)建具及びガラス工事	○建築物の外装工事・内装工事にとっていかにきれいにまた、確実に仕上げをするために工種により工夫がしてありその工法が理解できる。	小テスト
		カ)木造下地工事・造作工事		中間テスト
	6	(3)設備の工事 ア)給排水衛生設備工事 イ)空気調和設備工事 ウ)電気設備工事 エ)消火・警報設備工事	○建築物の中で快適に過ごすための建築設備工事について、各種の工事について具体的に学習します。	小テスト
7	(4)表面仕上げ工事 ア)左官工事 イ)防水工事 ウ)タイル・張石工事 エ)塗装工事 オ)内装工事 カ)金属工事	○それぞれの工事に使用される材料の規格・種類仕上げの工法について理解することができる。	期末テスト	
二 学 期	9	第6章 建築物の維持保全 (1)建築物の維持保全のあらまし (2)維持保全の分類と考え方 (3)各部の維持保全	○建築物は竣工したときから徐々に劣化が始まる。建築物の機能や性能を保ち、改善していく保守・修繕・改修の方法等について学ぶことができる。	小テスト
	10	ア)主要構造部の維持保全 イ)外部仕上げの維持保全 ウ)内部仕上げの維持保全 エ)開口部の維持保全 オ)設備の維持保全		中間テスト
	11	第7章 工事契約と施工管理 (1)工事契約と施工管理のあらまし (2)工事契約 ア)工事の発注方式 イ)契約方式 ウ)契約内容 (3)現場組織の編成 ア)工事事務所組織の構成 イ)施工体制の確立	○建築主と施工者との工事の発注・契約・契約内容等について理解することができる。	小テスト
	12	(4)施工管理 ア)設計図書の検討と施工図の作成 イ)仮設計画 ウ)工程計画と管理 エ)品質計画と管理 オ)予算と調達 カ)安全衛生と管理 キ)環境計画と管理 ク)検査 ケ)渉外・手続き		期末テスト
三 学 期	1	第8章 建築工事費の算出（積算） (1)積算のあらまし (2)積算の種類と方法 (3)工事費の積算方法	○積算の方法・種類・内訳書の内容・工事費の算出方法等の学習し、積算全般について理解することができる。	小テスト
	2	(4)建築工事内訳書		期末テスト
	3			